

AWS活動報告書 2024



サステナブルな水資源管理の国際認証
(AWSプラチナ認証)

サントリープロダクツ株式会社 天然水南アルプス白州工場

所在地 〒408-0316 山梨県北杜市白州町鳥原2913-1

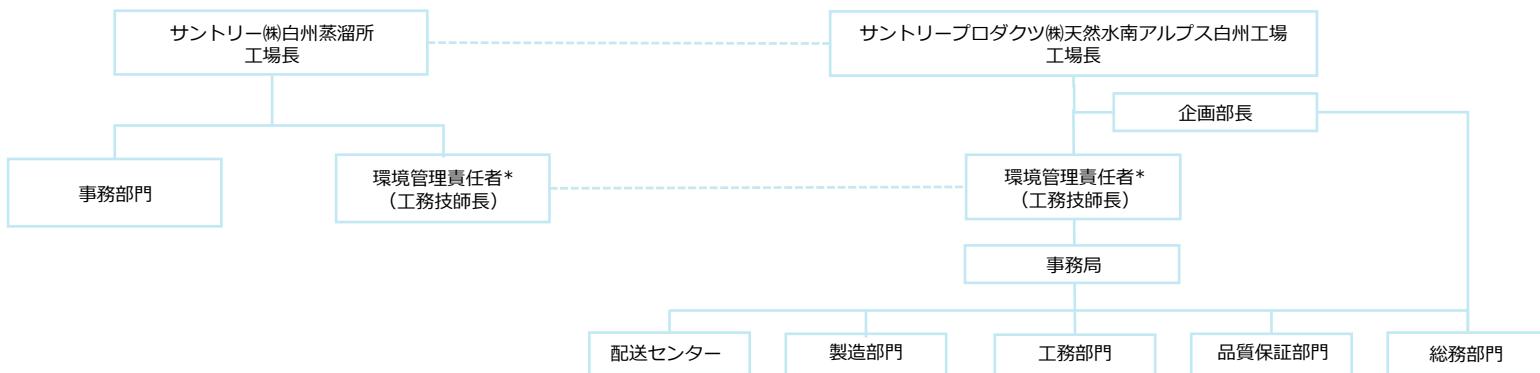
主要生産品目等 清涼飲料製造

認証取得 2021年～

認証レベル Platinum



ガバナンス体制 (AWS国際規格該当箇所:5.1)



* 環境管理責任者が水関連法規制の遵守責任者である
(用水: 天然水南アルプス、排水: 白州蒸溜所)

ウォーター・ステュワードシップ活動の概要

関連する共通の水の課題 ※ AWS国際規格1.6	目標 AWS国際規格2.3	パフォーマンス目標 AWS国際規格2.3	2024年取組/パフォーマンス AWS国際規格3.5/3.9/5.3	利害関係者エンゲージメント AWS国際規格5.4
地下水・淡水資源の枯渇	「水資源に関する重要区域」である「天然水の森南アルプス」の地下水涵養機能の維持・向上、および生物多様性の保全・向上	1. 林植生の回復による透水性の高い健全な土壤環境整。中でも土壤安定化を目指した花崗岩崩壊地（約0.6ha）の緑地化 ・植栽30年後（植栽2016年）の樹木定着率 20% ・植栽樹木の成長率（基準2018年）がプラスに維持されること ・花崗岩崩壊地における土壤流出防止 2. 生態系ピラミッドの頂点に立つクマタカの営巣確認	1. 植生調査を実施し進捗を確認 ・植栽樹木定着率は66.7%で順調に遷移している。 ・植栽樹木成長率がプラスに維持されていることを確認。 ・2011年に設置した、土壤流出防止のための丸太階段工とネットの補修作業を実施。 2. 鳥類調査により確認 ・営巣地までは現時点で特定できないものの、クマタカを計7例確認し、3個体を識別することができた。	「天然水の森 南アルプス」として協定している山梨県や北杜市に毎年の活動状況を提出
地下水・淡水資源の枯渇	【持続可能な水収支】 水のサステナビリティ追求の為、事業活動において最も重要な資源である水の使用量を継続的に削減する	水使用原単位2015年比35%削減（サントリーグループ全体目標）に貢献すべく製品生産量あたりの水使用量を維持する	2024年実績：約4%悪化（2015年実績比） 物流問題に対応するため、エリアの需給に影響を受けて小ロット生産に切り替えた結果、切替回数が増加し、実績が悪化。 水削減活動は継続している。 また、第三者評価として現在に至るまで観測井戸の水位は維持出来ており、資源枯渇などの影響はないものと考える	山梨県・北杜市に以下を報告 ・月別地下水採取量 ・水位観測記録
地下水・淡水資源の枯渇	地域コミュニティの参画意欲および活動認知を高める	「水育」活動の参加者確保および活動認知拡大	水育「森と水の学校」23回 618名 水育「出張授業」17校 614名の参加者を確保し認知を広げている。	—
地下水・淡水資源の枯渇	【持続可能な水収支】 次世代に環境教育し将来の担い手を育成する	水の啓発プログラムの展開	・北杜市内小学生5年生オンライン授業 市内全校に実施（全9校・590名） ・北杜市内中学生環境セミナーの実施（全9校・384名） ・「水の山」ユースアイデアプロジェクト（高校生）市内全校に実施（全3校）受講者に教育に対する満足度を高く評価された	環境学習の推進について北杜市と「森と水のパートナー協定」を締結
排水による水質汚濁（神宮川→釜無川→富士川）	【適正な水質】 水のサステナビリティ追求の為、地域に還す排水水質を適切な状態に保つ	山梨県の排水規制および排水基準で定められている排水の規制および基準値を継続的に満たす。	排水基準順守 100% (法令違反 0件) 適切な運転管理により排水規制値を継続的に順守できていることから、生息環境の劣化による魚類の多様性に影響を及ぼしていない為、河川に及ぼす生物多様性の維持ができていると考える。	法令および協定に基づいた排水の水質規制（pH、BOD、SS、大腸菌群）
地域との協働による水ガバナンスの強化	【適切な水資源ガバナンス】 白州の地下水を未来へつなぐ取り組みを継続する	「北杜市白州町地下水資源保全・利用対策協議会」事業を継続する 1. 協議会の実施 2. 地下水モニタリングの継続	1. 協議会の実施（実施率 100%） 2. 地下水モニタリングの実施（実施率100%） 地下水環境は安定しており、地下水の利用は適正であると第三者評価者に評価された	—
安全な水と衛生環境の確保	【WASHの提供】 安全な上水の供給と、衛生設備の安定稼働	1. サイト内に上水を常時供給する 2. サイト内のトイレ使用を常時可能にする 3. サイト従業員への衛生教育の実施	1.および2. 適切な管理により維持できている 3. 全従業員に実施し理解を得ている	・水道法（第4・20条） ・事務所則（第13・17・18条） ・安衛則（第628条） ・浄化槽法（第10・11条） ・快適職場指針（第1の4）
生態系と文化的価値のある水域の保護	【IWRA】 河川の環境整備への参画	地域と共同し神宮川流域を中心とした環境整備を継続する	計画参加率100% 地域景観に大きな変化は見られない	神宮川流域環境保全事業（北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会）
生態系と文化的価値のある水域の保護	【IWRA】 文化的価値への貢献	白玉石奉納の為の白玉石採取作業への参加を継続する	計画参加率100% 明治神宮へ白玉砂利を375kg奉納している	—
地下水・淡水資源の枯渇	サプライヤーへの働きかけ	国内原料サプライヤーのサステナビリティ活動に関する意識の向上	対象全社へ定例説明会を実施し、サステナビリティ活動の重要性を説明	—

※検討の結果、直面している共有する水の課題はない。但し、地下水・淡水資源の枯渇や排水による河川の水質汚染を懸念している。

水の利用 (対象期間：2024年1月1日～12月31日)

【インプット】

種類	単位	消費量
用水 (揚水・購入量)	千m ³	2,318

【アウトプット】

種類	単位	消費量
量	千m ³	1,208
pH	規制	—
	自主基準	—
	実測値	—
	実測平均	—
BOD	規制	mg/ℓ
	自主基準	mg/ℓ
	実測値	mg/ℓ
	実測平均	mg/ℓ